

2-1-1 教員の学位や業績

【体育学部】

体育 学 科	名前(読み)	品田 直宏 (しなだ なおひろ)
	職 名	講師
	取得学位	修士(体育学)
	専門分野 研究領域	コーチング, トレーニング, 陸上競技方法論
	担当授業	陸上Ⅰ, 陸上Ⅱ, 基礎ゼミナールⅡ, ゼミナールⅠ, ゼミナールⅡ, スポーツのリスクマネジメント
	研究業績	<p>1. 走幅跳の助走における踏切4歩前からのストライド制限の 有効性に関する事例的研究 (筑波大学大学院体育系修士 研究論文集 第33巻 pp433-436)</p> <p>2. 岸 順治・篠田知之・伊藤 嘉人・川崎 千明・平田勝彦・揖斐祐治・<u>品田直宏</u>・久我アレキサンデル・高橋正紀・福地和夫 (2014) 岐阜経済大学強化・準強化指定クラブにおけるスポーツ外傷・障害調査2012-2013. 岐阜経済大学論集第47巻 第2・3号, pp97-108</p> <p>3. 岸 順治・揖斐祐治・<u>品田直宏</u>・田中 透・久我アレキサンデル (2019) スキー実習における足感覚とポジティブ・ネガティブ感情の変化. 岐阜経済大学論集, 第50巻 第③号pp27-37</p> <p>4. 月刊陸上競技 トレーニング講座高校編 走幅跳 2017年4月~2019年3月</p> <p>5. <u>品田直宏</u>・熊野陽人・田中耕作・梶谷亮輔 (2020) 学生跳躍競技者におけるジャンプ能力とパフォーマンスとの関連性一性差に着目して-. 陸上競技研究, 122:34-43</p> <p>6. <u>品田直宏</u>・梶谷亮輔 (2021) 大学1年生女子100mハードル競技者における1年間のトレーニング実践-パフォーマンス向上およびレースパターン改善の試み-. コーチング学研究. 35:115-126.</p>
	所属学会 学会活動	陸上競技学会, 日本コーチング学会, スポーツパフォーマンス学会
	社会貢献	日本オリンピック委員会強化スタッフ (コーチングスタッフ)